

麻生多摩美の森だより

麻生区市民健康の森 一麻生鳥のさえずり公園一

第 35 号 2012 年 5 月 31 日発行 発行：麻生多摩美の森の会

発行責任者；間野 洋 編集者；木村 信夫

平成 24 年度を迎えて…活動の主な目標 会長 間野 洋

昨年度は設立 10 周年の節目の年で、われわれの活動も事故もなく無事終了しました。これもひとえに麻生区役所、川崎市公園緑地協会、近隣町会のご支援・ご指導と会員各位の協力のお陰であり、改めて皆様に御礼申し上げます。

去る 4 月 28 日、第 10 回通常総会においてすべての議案が承認され、平成 24 年度の活動がスタートしました。今年度の活動の目標は昨年度同様、地域コミュニティの構築と森の管理の充実です。各分科会、イベントなど、主な目標を以下に述べます。

1) 森づくり分科会

- ① 北斜面の整備 平成 13 年に植樹をして 11 年が経過している。下草刈り、間伐などの樹木の整備を早めに 2～3 年計画で実施する。
- ② 西斜面の整備 一昨年から枯れ木の伐採を開始したが進捗度は 3 分の 1 程度で、カントリーヘッジの設置も含めて今後とも継続する。
- ③ 竹林（孟宗竹）の新設 自前の孟宗竹林を西斜面の一部に新設するべく計画をスタートする。

2) 畑の管理分科会

昨年度から作付けの転換をしているが、今年度はサトイモを主力に菜種、レンゲの播種は続ける。麦類の栽培は西生田小学校 3 年生の「ソバと麦の学習」がなくなったので中止する。新たに多摩区菅地区の特産であるのらぼう菜の作付けを計画中。

3) 施設・工作分科会

- ① 藤棚の整備 藤棚の 4 本の梁の腐食

が進んでいる。取替えは会員のみでは難しいので、予算を含めて道路公園センターと相談しながら進めていく。

- ② 中央広場の排水計画 3 年前に中央広場の全体の排水計画を立てたが未実施。大雨後の排水が悪いので通行に支障が生じている。

4) 広報分科会

- ① ホームページの開設 昨年来の懸案事項であり担当者を決めて開設する。
- ② 10 周年記念誌の発行 市民健康の森の沿革、活動記録、緑の大切さを次世代に引き継ぐため記念誌の発行を計画している。現在「麻生多摩美の森の会活動記録と森の植物たち」の編集と製作という事業名で助成金を申請中で、5 月下旬の公開プレゼンテーションを経て、6 月上旬の審査結果を待つ状況である。5 名の編集委員を決めている。

5) イベント関係

植樹祭&収穫祭、植物観察会、西生田小学校の総合的学習への協力、夏冬の星の観測会、プレーパークへの協力などは例年どおり継続。新たに、多摩美の森に飛来する鳥の観察を、本格的に開始する予定。

また、（公財）現代人形劇センター主催の「ラオス人形劇 チェオボン」を、多摩美の森で 8 月初旬に開催する予定で準備を進めている。ご期待下さい。

以上が今年度の大まかな活動目標です。数年に亘るものもありますが、会員の皆様には「自分ができる範囲で楽しんで活動する」をモットーにご協力をお願いします。

◇◇◇ 若い仲間が入会！ 新会員からのメッセージ ◇◇◇

●私のボランティア 狩野 雅士

僕は人が好きです。誰かの役に立つことが好きです。

子供のころは両親に、大人になった今は友人や僕の子供たちに自分ができるいろいろなことをしてきました。

子供たちのうれしそうな顔を見ていると、僕も幸せな気持ちになりました。友人たちからも「ありがとう」と言ってもらえると、うれしくなりました。

今までは家族や友人たちの役に立つことが、僕のできるすべてだと感じていましたが、東日本で起きた大震災を受けて、自分はこれでいいのかと自問自答していました。テレビのニュースなどでボランティアの活動の様子などを見ていて、自分にも何かできるのではないかと考えるようになりました。

ボランティアは僕にとっても大変勉強になることと思ひ、麻生多摩美の森の会に入会することにしました。もっとたくさんの人びとを幸せにできるようにがんばりたいと思ひます。それによつて、僕自身も成長できるのではないかと感じています。子供たちも、ボランティアについて興味をもつてくれるといいなと思ひます。

そして、人の役に立つということのすばらしさを伝えていきたいと思ひます。子供たちにもそんな大人になつて欲しいと思ひます。

●大学の学びにも活かしたい 田中 駿

昨年の9月から活動に参加させていただき、10月から会員になつた田中駿です。

私はこの4月から大学で政治を学んでいます。政治は国や各地方自治体の方向性を決める大切なことです。それを学ぶにあつ

つて、理論や考えだけを知つていても仕方がない、まずは自分の住んでいる街のこゝを知つてこそ学ぶことが生きてくるのではないかとと思ひ、このボランティアに参加しました。

この8カ月間の作業では里芋の収穫や、木の伐採、篠竹林の蔦の除去など、初めてやることばかりでとても大変でした。しかしそれらのことは自分にとってとても新鮮で、やりがいのあるものです。そして今まで接したことのない世代の方々や収穫祭に来てくださった方々の貴重な意見や感想を聞くことができ、ボランティアに対しての意欲がわきました。

これからは大学の講義などで参加することが不規則になってしまうと思ひますが、精力的に参加していきたいと思ひますので、今後とも宜しくお願ひ致します。

◆里山フォーラム in 麻生で、西生田小5年生が環境学習の発表 木村 信夫

3月10日に麻生市民館で、「2012 里山フォーラム in 麻生」が開かれ、里山ボランティア団体が集い、活動の展示、発表、交流の1日を過ごした。このなかで、麻生小、西生田小、金程小、東柿生小5年生による里山体験・農業体験・環境学習について、大変充実した報告がありました。

西生田小5年生は、当会の協力・指導で、多摩美の森で環境学習「暮らしに役立つ植物たち」と「樹木の二酸化炭素吸着量測定」を実施しました。その学習とともに、バケツ稲栽培、八ヶ岳自然教室、プールの水の微生物活用による浄化など、1年間を通じてさまざまな活動を行なつて環境学習を深めてきました。当会の活動の励みにもなる報告でした。

■ 里山の自然観察と管理の見学

一県立座間谷戸山公園を訪ねて 中村 浩

3月18日(日)、小田急線座間駅より徒歩10分ほどの神奈川県立座間谷戸山公園を訪ねた。公園職員の斉藤氏(麻生区在住)がわれわれ一行7名を約2時間案内してくれた。

開園は1993年で、現在10のボランティア団体が活動している。約30haの園内は、田んぼ、湿地、小川、池、水源を囲む竹林、コナラ・クヌギのエリア、スギ・ヒノキのエリア、シラガシのエリア、サンクチュアリーエリアより成っている。小川では初夏にはゲンジボタルが観察できる。また、池ではカワセミ、アオサギ、シラサギ、各種のカモが見られるなど、年間で約70種の野鳥が観察でき、オオタカも営巣しているとのことである。

池のそばには蛙の繁殖用にビオトープが2箇所つくられているが、残念ながらここでは蛙が産卵したことはなく、他の場所に毎年産卵されているとのこと。自然は、人の思いには必ずしも同調しないようであり、一度壊した自然を元に戻す難しさを実感した。

丘の頂上付近では、大木化した雑木林が3,000㎡ほど皆伐されており、1年目の再生、萌芽更新の様子を見学できた。一部の老木については高所萌芽更新の試験が行われていた。高所萌芽更新とは、樹高の約半分位で伐採して萌芽更新させ、萌芽した所でさらに半分に伐採し萌芽させ、その後さらに通常の高さで



皆伐1年目の萌芽更新の様子

伐採し萌芽更新させるという方法で、3度手間ではあるが、老木での萌芽更新の成功率が高いとのことである。

クヌギ・コナラの林の中には立派な炭焼き釜があったが、近隣の住民から煙にクレームがあつて使用禁止となり、1度しか使っていないとのことであった。

伐採した樹木はカントリーヘッジなどに利用しすべて園内で循環させている。園内の随所にロープの囲いの中に、樹木・野草の名前と写真と「養生中」の札を掲げて稀少植物が保護されていた。

今後のわれわれの活動にとって参考になった1日であり、季節を変えて再訪したい。

◆多摩美の森に、菜の花とレンゲ咲く

田園景観が再現

副会長 中谷 一郎



麻生区市民健康の森は「近隣公園」という位置づけだそうですが、この森を少しでも里地里山風にしてみたいと思い、数年前から菜の花、レンゲ、のらぼう菜などを播種してきました。しかし、播く時期が遅かったり、土壌が合わなかったりして、上手く行きませんでした。

今回、レンゲについてはJ Aセレサ柿生支店に技術相談に行き、菜種はおつ越し山ふれあいの森の皆さんから種子をいただいて播種したところ、4月下旬には菜の花が満開になりました。レンゲも心配しましたが、5月初め、菜の花の黄色をバックに薄紫に咲き、通りかかる人びとが「きれい」「懐かしい」と楽しんでいました。

秋には地元、多摩区菅地区の特産、のらぼう菜にも挑戦したく思っています。

◆私の部屋◆ モロッコの迷宮をさ迷う②

中村 浩

2日目 朝食後9時過ぎに期待と不安とともにマラケシュ旧市街へ繰り出した。ガイドブックの大まかな地図が頼りだが、現在地が判らず、方角も判らず、とにかくメインストリートと思われる路地を、昨夜と反対方向に行く。

昨夜は人人人で溢れていた通りは閑散としているが、昼間見ると、期待に違わず異国そのもので、2～3階建ての建物の間の路を、男性は地味な色のジュラバ(フード付きロングコート、鼠男の格好そのものである)を着、女性は長いコートとスカーフで顔を隠し、ロバが引く荷車などが通る。路は右に左にゆるやかにカーブし見通しが利かず、合流・枝分かれを繰り返し方向感覚がつかめない。路幅が狭くカーブしているので、陽が当たっているかと思うと、日陰となる。それが夏の強烈な日差しへの暑さ対策にもなっているようである。2月の気候は、陽が上がる前は長袖シャツにダウンコートでも寒く、日中は日向ではTシャツ1枚で良いが、日陰に入ると上着が欲しくなる。

路地などでカメラを出すと女性は手で顔を隠してしまう。シャッター音を聞きつけたお爺さんには、凄惨な剣幕で怒られた。「写真を撮るな!」と言っているようだ。観光客が誰も居ないような場所だと結構怖く、大道芸人や水売りおじさんは、写真を撮ったのが分かるとお金を要求する。観光客相手の店員さんは、撮影に気さくに応じてくれた。

ジュマ・エル・フナ広場では、昼間は観光客目当ての蛇使い、猿使い、水売り、大道芸人、露天商と、思い思いに商売をしている。夕暮れ時からは、屋台が立ち並び食堂街に変身する(右の写真)。無秩序に屋台を出していると思ったら、広場にはテントのポールを建てる穴が空けてあり、屋台の配置もスプーの屋台から順番に揚げ物屋、羊の脳みそ・・・煙を出すケバブ、甘いデザート、そして屋台村を囲むように、果物・ジュースとナッツの店が並ぶ。

3日目 中心部は完全に制覇したと思っていたのに、広場より宿へ帰路に着くが一向に着かない。どうも曲がる所を間違えたようである。迷宮の街と言われる所以を体験できた。

●今後の活動予定 副会長 中谷 一郎

本年度最初の会報になりますが、年3回発行なので、梅雨入り～猛暑?～森の豊かな秋の実りの季節へと長い活動予定になりますが、昨年同様、地道に楽しく、汗を流したいと思っています。

今後の活動予定は次の通りです。

- 6月 2日(土) サトイモの植付け、樹木の手入れ、草刈り、清掃、幹事会
 - 6月17日(日) 樹木の手入れ、草刈り、清掃
 - 7月 7日(土) 草刈り、下の畑除草、清掃
 - 7月15日(日) 大麦の脱穀、乾燥
 - 7月28日(土) 八町会盆踊り大会(予定)
 - 8月 4日(土) プレーパークを創る会、オーロラ天文台 星の観測会への協力
 - 8月 8日(水) ラオスの人形劇 チェオボン(公益財団法人・現代人形劇センター主催)
 - 8月19日(日) 畑の手入れ、草刈り、清掃
 - 9月 1日(土) 小学校総合学習協力の準備
 - 9月16日(日) 畑の手入れ、草刈り、清掃
- この間補助作業日は第2、第4水曜日です。

ジュマ・エル・フナ広場
夜の屋台街



★会員募集中です 一度見学にお出で下さい。里山の楽しさを親子で味わってください。年会費1,000円。

●麻生区のホームページで、市民健康の森を紹介、本紙のバックナンバーも見られます。
<http://www.city.kawasaki.jp/73/73tisin/miryoku/sanka/mori.htm>

◆皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい。

<問合せ・連絡先>

間野 洋 044-966-7233

mano-h@jcom.home.ne.jp

木村信夫 044-954-7855

kimura-yatsu@nifty.com